

event news

2013年9月イベントのお知らせ

「エヌテックあぐりくらぶ（稲刈り）」
 「初めての家づくり教室（ハツイエセミナー）」
 「キンカンの工作室ミニチュア制作」
 「住まい手さんの家見学会」
 の4つを開催します。

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15 あぐりくらぶ （稲刈り）
16	17	18 キンカンの工作室 ミニチュア制作 教室	19	20	21	22 ハツイエ セミナー
23	24	25	26	27	28 定期点検 （廿日市・安佐南区）	29 住まい手さんの家 見学会
30						

『あぐりくらぶ（稲刈り）』

- 開催日：9月15日（日）
- 開催時間：午前8時～午後5時
- 場所：島根県鹿足郡吉賀町柿木村
- 本年度のご予約は終了致しました。

今年で5年目を迎えたエヌテックあぐりくらぶもいよいよ収穫の秋を迎えました。異常気象の影響が心配されましたが、柿木村のお米は力強く育っていると現地情報もあり収穫作業が楽しみです。

あぐりくらぶは5月の田植え、6月の草取り、9月の稲刈りと年3回開催しています。毎年6組程のお客様とエヌテックスタッフ等が参加し、広島から貸切バスで移動し午前中は田んぼで作業、昼からは地元の美味しいランチをいただくイベントです。小さなお子様も楽しく作業をしていますので、ご興味がおありの方は是非とも来年度からのご参加をお待ちしております！

『初めての家づくり教室』

- 開催日：9月22日（日）
- 開催時間：午後2時～4時
- 場所：Gallery 様（エヌテック事務所隣）
- 事前にご予約をお願い致します。

あなたが家づくりを始めるにあたって、是非知っておいていただきたい内容を集めたセミナーを開催いたします。

なぜこのセミナーをご紹介しますのかというと、家づくりは本当に高価で一生に一度の大きな買い物であるにもかかわらず建ててから「失敗した」や、「後悔している」と感じている人が大変多いからです。

このセミナーの一部を紹介すると
 ・日本に住んでいる私たちが絶対に知っておくべきこと
 ・一生快適で、光熱費一生ゼロの夢の家のつくりかた
 ・「今、太陽光パネルをつけておけば安心」の落とし穴
 ・「一流ハウスメーカーだから安心に違いない」の罠
 ・耐震等級3以上をなぜクリアしなければならないのか？
 など家づくりを始める前に知っておいて

ただきたいことばかりです。定員は、限定5組（申し込み順）となっておりますので今すぐお申し込みを！



『住まい手さんの家見学会』

- 開催日：9月29日（日）
- 開催時間：午前10時～午後3時
- 場所：東広島市周辺を予定
- 事前にご予約をお願い致します。

毎回大好評をいただいております、住まい手さんの家見学会。今月は、東広島市周辺のお住まいで現在調整中です。詳細が決まり次第、ホームページ等でお知らせ致します。住まい手さんの家見学会では、実際の暮らしぶりをご覧いただけたり、住んでみてどうだったかなど住まい手さんの生の声を聴く事ができますので、皆様のご参加をお待ちしております。

【イベントへのご参加方法】

- 事前のご予約が必要な場合、下記のいずれかにてお申し込みをお願い致します。
- ・弊社ホームページのフォーム（URL <http://www.ntecj.co.jp/>）
- ・エヌテック代表メール（info@ntecj.co.jp）
- ・エヌテックへのお電話（082-509-5771） 担当：佛崎（ぶつぎ）・松下まで

「ひろしま満点ママ!!」
に出演

「キンカンの工作室」ミニチュア制作教室を開催致します!!

ミニチュア作家である「キンカンの工作室」こと、「萩谷幹」先生によるミニチュア制作教室は、夏休み期間に開催したお子様向け教室で大変にぎわいました。子ども達の発想力で一味違う作品がたくさん出来ました！
 さて9月は第六回を9月18日（水）に開催致します。今回の制作は初の洋食です。まずはエヌテックまで参加希望のご連絡をお願い致します！

「キンカンの工作室」ミニチュア制作教室
 第六回：9月18日（水）午前10時～12時
 場所：Gallery「様」（エヌテック事務所横）
 料金：3,000円/1名（材料代・講習料込）
 制作品：ハンバーランチ
 ※先着8名様限定です。
 ※駐車場がありませんので、お近くの100円パーキングをご利用下さい。
 ※当日制作した作品はお持ち帰りいただけます。



9/18 制作品 ハンバーランチ

1円玉!!

超快適 & ゼロエネ研究所 通信 vol.08 SEP. 2013

株式会社エヌテック

〒733-0007
 広島市西区大宮 2-13-7
 TEL:082-509-5771 FAX:082-509-5772
 E-mail:info@ntecj.co.jp
 HP:http://www.ntecj.co.jp



超・快適への道「快適は“質”の時代へ」①

「快適空間の質を考える」

8月下旬の大雨から、9月に入ると朝晩がめっきり過ごしやすくなりました。気温の急激な変化に体がついて行かないこともあるかと思えますので体調管理にはご注意ください。秋、春のエアコンなどがいらぬ季節のことを「中間期」と呼んでいます。一年のうち、気温も湿度も丁度良く外にいるのが気持ちいい時期です。年中そうだと言うことではないのですが今年のような猛暑や湿気がうっとおしい梅雨、これからやって来る冬のような凌ぎにくい季節が一年の半分以上を占めます。昔から凌ぎにくい季節に対し様々な道具や機械設備が使われてきました。暑い時は涼しくなるもの、寒い時は暖が取れるもの。しかし、湿気だけはどうにもな

らないですね。温度を下げるくらいでしょうか？（相対湿度が下がるため）これらは全て「快適」に向かうことですが、エアコンの冷え過ぎ、暖房のムラ、高い湿度による不快感、またこれらを得るためのエネルギーの問題もあります。2011年の震災以来「省エネルギー」に対する一般の意識は格段に向上したと思えますが、だからといって我慢の上に成り立つ快適は受け入れられません。エネルギーの問題がなかった頃（随分昔です）ね、一年中半袖Tシャツで過ごせる空間こそ豊かの証だったこともありますが、今、それは人間にもエネルギー的にも無理があったり不自然であって豊かなことではないと認識されていると思います。では、先ず「快適な室内環境」とはどういう状態を指すのかを考えるとところから始め、しかもそれは少ないエネルギーで実現しな

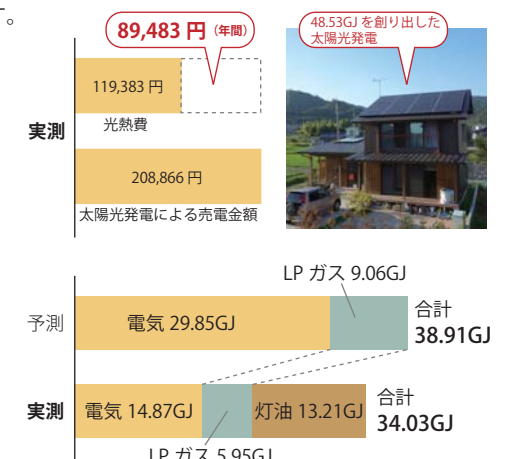
ければなりません。ここでちょっと余談になりますが、「じゃ、ゼロエネルギーはどうなるの？」かですが、ゼロエネルギー住宅とは家庭でのエネルギー収支（使った分と創る分の差引）が概ねゼロになることを指しており、「快適」は目的ではありません。極端なケースでいうと、多大なエネルギー消費をする住宅であってもそれを補うだけの大きな太陽光発電などの創エネ設備が搭載されて差引ゼロになればゼロエネ住宅ということになります。住宅でどのように快適が実現されているかは、ゼロエネは直接的な関係はありません。エヌテックはゼロエネ（家電・調理を含む）にも取り組んでいます。あくまでも「適切な快適が少ないエネルギーで実現できる家」が目的であって、ゼロエネありきではないのです。では、快適空間とはどんなものなのでしょう？続きます。

ゼロエネ研究所レポート

昨年の夏にお引渡しをした、エヌテックゼロエネ住宅第一号こと「杏庵」（東広島市）の一年間のエネルギー収支を報告致します。ご協力いただいたお施主様のT様、誠にありがとうございました。年間の一次エネルギー消費量は、**34.03GJ**（二人暮らし）、光熱費は**119,383円**でした。ちなみに杏庵は電気・ガス・灯油を利用したお住まいです。広島の二人暮らしの平均が**65.17GJ**ですので、パッシブ

この詳細は、9月20日発売予定の「優しい木の住まい vol.9」（広島県工務店協会 発行）で紹介されます。

デザインを取り入れた住まいの効果はとて大きなものがあると確信しました。そして、4.2kWの太陽光発電が創り出したエネルギー量は**48.53GJ**、売電額は**208,866円**でしたので、見事ゼロエネルギー住宅が実現しています。事前の予測では、エネルギー消費量が**38.91GJ**、太陽光発電の創エネ分が**43.74GJ**でしたので、予測と実測とに大きな違いは無い結果を得ることができました。





My Topics

エヌテックメンバーからの家づくりトピックス

『現場進捗状況』

土井長 元気

工務部の土井長です。現在、新築3棟、大規模改修1棟が進行中です。まずは、東区のT様邸からご紹介します。下の写真



は、8月下旬に台風が接近した際の様子です。外廻りは、台風養生（外部足場のシートを束ねる事で風の影響を受けない様にしたり、敷地内の材料などが飛ばない様にすること）を行っているので安心です。実際、台風の際も被害は無く無事に乗り切りました。木部塗装、外壁施工へと行程は進み、9月下旬には足場も解体している予定です。また、内部も順調に進んでおり、9月下旬には木工事が完了し内装工事、設備機器工事へと進んでまいります。



台風養生

新築工事の残り2棟は、これから本格的に現場が始まる予定です。西区のK様邸は、事前の仮設工事が完了しいよいよ基礎工事へと進みます。また、尾道のK様邸は、8月31日に地鎮祭が執り行われ、現在上下水道の工事が完了するのを待つ状態です。最後に、安佐南区で改修中のN様邸のご紹介です。9月2日から解体工事が始まり、現在は大工工事の真っ最中



N様邸解体後の様子

柱の入れ替えや耐震補強も必要な築約50年のお住まいを快適空間へと改修していきます。完成は11月中旬の予定です。

『設備機器のメンテナンス』

佛崎 浩平

お客様サポートの佛崎です。今回は、設備機器のメンテナンスについてです。先日お客様よりご連絡をいただきメンテナンスに行ってきました。浴室の水栓器具のメンテナンスです。ユニットバスはタカラスタンダード。メーカーのアフターサービスもしっかり行っていて頼りになります。お客様からエヌテックへご連絡を頂いたときは別の設備器具からの異音によるご相談でした。



以前、異音についての確認や調査の難しさなど、大変勉強になったとエヌテックブログにアップしました。そして異音の部位が特定できたことによって、不具合が出ていたのは全く違う場所だということが発覚！



メーカーによる対応

設備機器の異音は、温水器のタンク内部からで、故障して交換が必要だったのは、浴室の水栓器具でした。水栓器具には、外部から入ってきた水を逆流させないように「逆止弁」が内蔵されています。その逆止弁が機能なくなると、温水器へ水が逆流してしまいタンク内の部位に負担がかかってしまいます。その負担が、異音となって発見されました！家も人間と一緒に、痛いときは訴えてくるんですね。また、メンテナンス対応の大切さを教えてもらいました。

『エヌテックの取り組みが雑誌に掲載されます』

谷口 護

設計担当の谷口です。今回の快適通信の「ゼロエネ研究所レポート」に掲載した、ゼロエネ住宅の詳しい内容についてレポートした記事が雑誌で紹介されることになりました。



9月20日発売予定の「優しい木の住まい vol.9」です。(写真はvol.8です。)

広島市内の書店で取り扱いがありますので、是非ご一読下さい。私も少しだけ登場させていただきました。そして何よりもお施主様であるT様の多大なるご協力が無ければ実現しなかった内容です。T様、誠にありがとうございました。データ収集は一年間で終わらせずに引き続きご協力を賜りたいと存じます。



雑誌では、ゼロエネルギー住宅のエネルギー収支に関して、事前に計画した予測数値と建てて一年が経過した時点での実際のデータを収集した数値を比較検証しています。太陽光発電をたっぷり載せれば、その住まいは簡単にゼロエネルギー住宅になるかもしれませんが、それではインシヤルコストが莫大にかかったり、何よりも住まいの快適性が保障出来るとは限りません。

エヌテックでは、パッシブデザインを出来るだけ取り入れた建物をつくることで快適性と省エネ性を実現して、必要最小限の太陽光発電を搭載すればゼロエネルギー住宅も可能なお住まいをご提供していきたいと考えています。T様邸でも、恵まれた周辺環境を最大限活かすべくパッシブデザイン満載で計画を行いました。ご契約段階では太陽光発電も太陽熱給湯システムもありませんでしたが、エヌテックのゼロエネルギー住宅に対する考えをご理解いただいたことによって、追加の出資をご決断され、その結果とても満足をいただけてお住まいです。T様とは、これからも省エネに関する情報交換を続けてより一層の快適空間を実現したいと思います。

エヌテックでは、パッシブデザインを出来るだけ取り入れた建物をつくることで快適性と省エネ性を実現して、必要最小限の太陽光発電を搭載すればゼロエネルギー住宅も可能なお住まいをご提供していきたいと考えています。



T様邸

『我が家の省エネ度』

渡部 良佑

設計担当の渡部です。エヌテックもサポートメンバーとして参加している「Forward to 1985 energy life」。この運動の具体的な目標は、「エネルギー消費量と電力消費量が共に平均家庭の2分の1を達成する」です。この目標が達成できれば「1985家族」に認定されます。というわけで、今回は自分の家の消費量についてお話しします。



まずは自分の地域の平均的な消費量を把握します。広島県で一人暮らしの場合は平均が35.79GJと2,702kWh。

世帯人数別平均消費量 (広島県)			
1人	35.79 GJ	1人	2,702 kWh
2人	65.17 GJ	2人	4,863 kWh
3人	76.22 GJ	3人	5,679 kWh
4人	81.13 GJ	4人	6,073 kWh
5人	92.95 GJ	5人	7,054 kWh
合計	111.80 GJ	合計	8,717 kWh

つまり、この数値の半分が目標値で、1985年はこの目標値くらいで暮らしていたそうです。(私はまだ生まれていない年です。) 2011年の渡部家の数字は以下の通りです。消費エネルギー合計………37.28 GJ
消費電力合計………3,433 kWh
問題外ですね。半分どころか平均超えを達成してしまっています。

そして2012年の渡部家の結果は、消費エネルギー合計………31.38 GJ
消費電力合計………2,800 kWh
合計は平均以下で、電力は平均を少しオーバーです。ただ意識するだけでも、前年に比べて約20%は削減することが出来ました。

最後に2013年8月現在までの渡部家は、消費エネルギー合計………18.60 GJ
消費電力合計………1,538 kWh
8月までの集計ですが、すでに半分は超えており1985家族への道はまだまだのようですが、一年間での数値は前年を下回りそうな状況です。年々目標に近づいています。1985年に比べて、今は家電等も増えていてなかなか達成は難しいかもしれませんが、まずは現状を調べてみてはいかがでしょうか？ご興味がある方はエヌテックにご連絡頂ければ、算出方法をお伝えしますのでぜひ挑戦してみてください。

また、Forward to 1985 energy lifeのホームページのアクションナビで入力することも可能です。エコ・アクション・ポイントの申請も可能ですのでこちらもご覧ください。

今月のすてき、快適！

設計チーフ 松下 陽子



「福田織物のストール」

9月に入りましたね。雨の影響か、例年の9月より涼しくなるのが早いような気がします。

記録的な猛暑から季節の変わり目になると、朝晩は涼しいけど昼間はまだまだ暑いといった調子で、体調を崩しやすくなります。こういった曖昧な時期を凌ぐのに便利なのが脱ぎ着が出来る「カーディガン」や巻いたり外したりが出来る「ストール」ですね。特におススメなのは軽くて持ち運びに便利な天然素材のストール。麻はもちろん綿や絹も肌触りが良くて心地よく、冷房がきつく感じる場合には首に巻くだけでなく、羽織ったりも出来ます。一枚重ねるだけで体温調節が可能、綿、麻、

絹素材を選べば年中使える便利なファッショングッズだと思います。もちろん、シンプルなファッションのアクセントとしても活躍します。写真は、「福田織物」の綿100%の軽くて薄いストール。120番手という極細の糸を使って高度な技術により軽く薄く柔らかく織り上げてあり、巻いたり折ったりの扱いも簡単、手に持った時の柔らかさに感動する一品です。自宅で手洗い可能。優しい色からアクセントになるカラーまで11色から選べるのも嬉しい。ファッションのポイントとなるだけに素材感にはこだわりたいですね。



18,900円 (税込)

D&Dのオンラインショップから購入可能。
<http://www.d-department.com/jp/>

快適を突き詰める

エヌテック代表 野坂 和志



「冷房は浪費モノ？」

酷暑の時期もなんとか過ぎ去りつつありますが、この夏も冷房なしではとてもやり過ごす事は出来ませんでした。我が家は愛猫「ジジ」の為に24時間連続運転の毎日でした。7月の電気代がついに大台を越える事態に…。28℃設定、省エネモードで運転していましたが猫にとってはそれでは寒いのか？冷房があまり効いていない部屋の隅でほとんど日中は過ごしていたようです。冷やし過ぎはもったいないことですが、適温の冷房は熱中症対策の上でも非常に有効です。

このエアコン冷房ですが、「エネルギーをたくさん消費している」とお思いの方が多なのが事実です。しかし、実際には四国や九州といった比較的暑い地域でも

家全体のエネルギー消費の3~4%程度しかありません。エネルギー消費が多いのは給湯や家電・照明といったもののほうがはるかに多いのです。なぜかという冷房が必要な時期はというと夏の限られた期間だけで使用時間も限られています。外気温が35℃でも室内を27℃に設定すると差の8℃分だけを下げればいわけです。(暖房はたとえば外気温0℃だと室温20℃ならば20℃上げるエネルギーが必要)しかし家電や照明などは年中コンスタントに使用され続けます。

年間を通じて消費されるエネルギーこそが実はより多くのエネルギーを消費しているのです。適度な冷房はあまりエネルギー消費には問題はありません。

